



最近、雨が多いです。ポーポキは、傘の中からやさしい雨を見るのが好きですが、激しすぎるとこわいです。みなさんは、適量のやさしい雨に恵まれますように！

Popoki's Hot News!



もうすぐ灘チャレンジ 2016！7月3日 10:00～16:00

灘区都賀川公園でお会いしましょう！

*灘チャレンジは、1995年の阪神淡路大震災以来、毎年神戸大学の学生ボランティアと灘区の市民によって開催されています。震災のときに学んだことを風化させないで元気に生きること！みんなで考えましょう。



**ポーポキのピース・ブック3や「ポーポキ友情物語
～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅～」**

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、元気って、なに色?』や、ポーポキのほかの本は、お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸 YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、およびご感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのやすにゃんから届いた平和。

「大好きなお友達と楽しく過ごしているとき平和を感じる。

なんでも話しあったり、共有したり、分かりあえたり…一緒に笑う時も、ディベートする時も、泣く時も…大好きなお友達と平和を感じます(o^o)」
あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



灘チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ！

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>



ポーポキ・ピース・プロジェクト・Popoki Peace Project 10th Anniversary



ポーポキ・ピース・プロジェクト創立 10 周年をどのように記念しましょうか？

- ポーポキ・ピース・プロジェクトができて10年。
- 4冊の絵本。たくさんのにゃん友だち。さまざまなワークショップ。スタディツアー。延べ約200メートルのポーポキ友情物語の布。
- 数々の笑顔。
- 最初の10年をふりかえり、次の10年に向けるためにどうすれば良い？みんなの素敵なアイデアをお聞かせください。
 - 今まで出たアイデアはたとえば…
 - 新しいTシャツをつくる
 - グッズ（バッグ、帽子、クリアファイルなど）
 - ポーポキ郵便切手
 - 映画の上映会（原爆を中心？ちょっと高いものとか、数本とか？）
 - ポーポキを語り合うパーティーや合宿
- 子どもの権利条約フォーラム2016の分科会を立ち上げる



あなたの提案は？ronniandpopoki@gmail.com へ
ぜひあなたの素敵なアイデアをお送りください！



ポーポキ at グアム島で開催された太平洋芸術祭

5月25日から31日まで、ポーポキはさとにゃんとろにゃんと一緒にグアム島へ行ってきました。



ちょうどその時期に4年に一度開かれる「太平洋芸術祭」がグアムで開催されていたので、それをぜひ見てみたいと思ったのが目的の一つです。そして、その芸術祭の一環として「先住民族言語会議」という学会がグアム大学で開催され、ポーポキたちはグアム大学の仲間と一緒に研究報告をすることが二つ目の目的です。もちろん、グアム島にいる友だちに会ったり、きれいな海を眺めたりもしたかったです。

グアムに着いてからは実に忙しかったです！最初の二日間は昼間が学会、晩は芸術祭というスケジュールでした。学会では、「平和」や「安心」と言った概念をチャモロ語や他の先住民の言葉で表現するときに生じる問題について話し合いました。グアム大学のマイケル・ベヴァクア先生が英語の **Peace** のチャモロ語訳について話した後、参加者に「安心」を表す絵とストーリーを作ってもらいました。出来上がった物語はどれも、太平洋の多様性を平和的に捉える物語で興味深かった。チャモロ語を自由に話せる人口が非常に少ない中、生きた言語としてチャモロ語の使用を研究者として、そして活動家として進めている人たちと過ごした二日間はとても刺激的でした。言語とはなにか？文化とはなにか？言語が失われたら文化も失われる？人は言葉を所有するのか。それとも言葉に所有されるのか。次々と疑問がわいてくる学会でした。



芸術祭そのものの内容は幅広く、ダンスやビジュアルアーツ、詩などの文学の他に、歴史やヒーリングアーツなどのセッションが毎日平行して開かれました。27の参加国・地域の物品を作ったり販売したりする場所もあって、とても賑やかで楽しかったです。

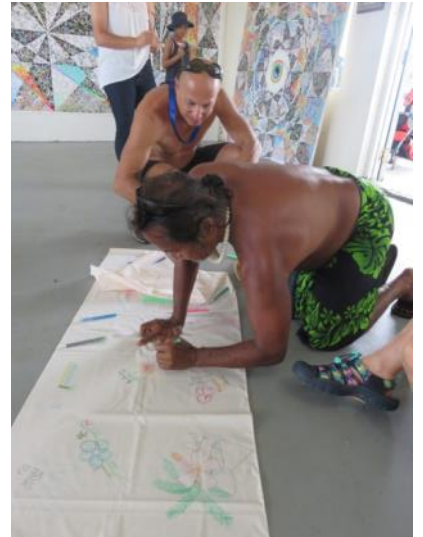
太平洋のダンスやアートを見るのがとてもよかったです。さらに良かったのは色々な人から植民地化の意味や今後の政治や地位、あるいは軍事化などについての話が聞けたことです。アートを作った人たちから島や文化に対する誇り、文化や言語の劣れに対する不安、海面上昇などの問題に対する恐怖などを聞くことができました。また、オーラルヒストリーのサークルでは、日本軍占領時代や米海軍支配時代にチャモロの人々を対象にした暴力という生々しい体験談などを聞くことができました。

私たちの滞在の最後の日にポーポキが大活躍をしました。



マーク・デレイソラ(Mark Dell'isola)というグアムのアーティストの協力を得て、沢山の人にポーポキ友情物語の布に絵を描いてもらうことができました。特に印象的だったのは、グアムの伝統的なダンスのパフォーマンスを終えた直後で衣装のままに来た女の子たちです。「古いダンスよりはスポーツが好きだけど、トライしてみたら楽しかった。(芸術祭)が終わってからも続けたいと思う」、と。布に描いた「安心」は家族です。「私たちにとって、家族が一番大事です。」

布の活動のあと、今回の芸術祭のために復活させられた伝統的な楽器を作って、演奏するというセッションを寄ってみました。「ビレンバオツヤンという楽器は、チャモロの楽器ではありませんが、昔使っていた記録があります」というグループのリーダーが説明してくれました。小さな子どもから大人までが楽しそうに自らが作った楽器を使って演奏していました。



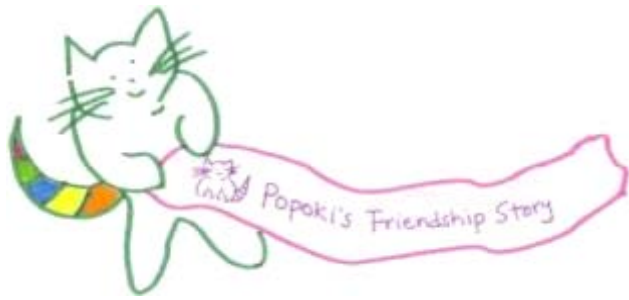
楽器づくり会場で楽器を作っている人に「安心」について伺いました。彼女はストーリーテラーとして参加していて、自らの複雑なライフストーリーを聞かせてくれました。ちょうど終わりにかかっているときに彼女の師匠が来て、こちらからの質問をきっかけにグアムにおける米軍の存在について二人が議論を始めました。「いざというときには安心」という意見に対して、「土地を奪って、汚して、所有者にその土地に行けないのはフェアじゃない。いざという時は助けてくれるかもしれないけど、いなかったら助けを必要としないかも。」ちょうど沖縄が20歳の女性がレイプのあとに殺害され、遺体が捨てられたという報道を聞いたところでしたので、特にインパクトが強い話でした。

お話しの中でポーポキのことを言ったら、晩に色々な作家が自分作品を読むセッションがあるのでぜひ読んでほしいと依頼されました。もちろん承諾しました。そのセッションもとても興味深かったし、ポーポキに新しい友だちがたくさんできました。マーシャル諸島出身の詩人、キャシー・ジェットニル・キジナー(Kathy Jetnil-Kijiner)は海面上昇や核実験を題材とする詩を読みました。お願いしてみたら、布に“Tell them about the water”と描いてくれました。それは、海面上昇のためにマーシャル諸島の人々はどれだけ不安でどれだけ島を離れるのがいやかについての詩からです。ぜひ見てください。

<https://www.youtube.com/watch?v=w9D88ST9qbw>

芸術祭というと、オリンピック同様、観光資源として使用するというイメージがあったけれど、参加してみて、今回は観光客のためのものではなく当事者たちが集うためのものだという印象を持ちました。もしもそうだとしたら、4年に1回、しかも毎回違う場所で開催されるこの芸術祭は、グアムの人々にとって本当に貴重な機会でした。少しだけでも一緒にできて感謝しています。次回はハワイで開催されるそうです。できたら行きたいね。





Popoki's Interview

宮本直哉

去る4月20日(木)熊本で被災した私と友人ふたりの合計3人から神戸で行われているポーポキ・ピース・プロジェクトへ熊本の被災状況をスカイプにて報告させていただきました。以下、当日の報告内容です。



ポーポキ神戸: 熊本の状況はどうか。

熊本: 実家は菊陽町というところにあり、大きな被害を受けた益城町の隣町。今は町の避難所、自衛隊の提供する仮設風呂近くに車を停め、そこからスカイプをつないでいる。自分たちの家の場合、まだ水道が止まっているものの電気は常に使用できる状態にある。この2、3日でも様々なものの復旧が急速に進んだといえる。水道に関してはすでに熊本市内の80%は復旧。JRの在来線が熊本から博多までつながり、熊本空港も一部の便で運航を再開したとのこと。

ポーポキ神戸: 熊本大学の避難状況はどうか。

熊本: 熊本大学は市町村の公式な避難場所ではないため、学生が運営を行っていた。そのため物資が不足すること等あったものの昨日（19日）には避難者に他の避難場所に移ってもらい避難所をクローズした。

熊本: 阪神大震災を目の当たりにし、東日本大震災でも支援を行ってきたポーポキ・ピース・プロジェクトの皆さんに質問させていただきたい。現状多くの避難者が各小中学校の体育館に避難しているが、今後授業が再開されるにあたって無理矢理追い出されるようなことは有り得るのだろうか。また仮設住宅等の準備までにはどのくらい時間がかかるか。

ポーポキ神戸: 復興が進めば当然避難所から出てもらう必要もあるが、避難者、生徒、双方に支障を出さないためにたとえばしばらくはふたつの学校の生徒を片方に集め、そこで授業を行う。それによって空いた片方の学校を避難者には使ってもらう等の対策が考えられる。仮設住宅に関しては万が一同規模の災害が再び起こった際にその土地が適当か等、選定が必要なためしばらくは時間がかかると思う。

熊本: 神戸で報道を見ている留学生の皆に質問。日本に来て、この熊本での災害を見てなにに驚きを感じているか。

ポーポキ神戸: 日本では地震による災害が起こることは知っていたが、実際にそれを自分がいる時に目の当たりにしたことにとっても驚いている。

最後に.... **ポーポキ神戸:** 今日はリアルな状況が聞けてよかった。

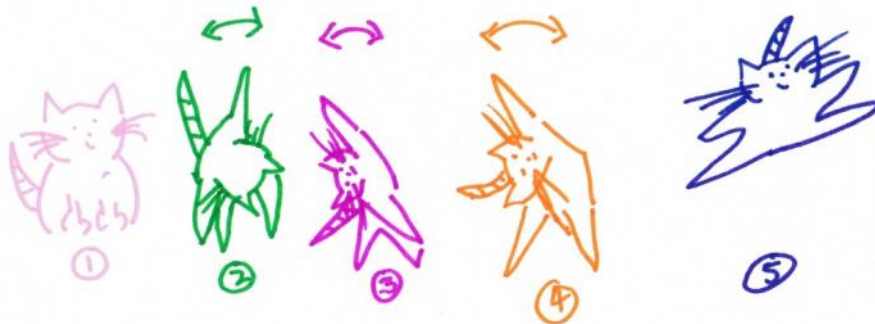
熊本: 今後とも密に連携を取り熊本のためにがんばろう。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 97

今月のテーマは、上半身のストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. さて、立ちましょう。手を横へ大きく広げてから右手で右足を、そして左手で左足をタッチ！
3. 次は、右手で左足をタッチ！左手で右足をタッチ！しっぽでバランスをとってね。
4. そして、今度は右手を左の足首か左足の裏をタッチし、左手で右の足首か足の裏をタッチ。しっぽでバランスをとりながら体を大きくのばしてね！
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会： 7月3日 16:30～ ポーポキの模擬店（灘チャレンジ会場）

- * 7.3 ポーポキ in 灘チャレンジ 模擬店&展示 10:00～16:00 神戸市灘区都賀川公園
スタッフ集合:9:00 マリーホール前
- * 7.9-10 ポーポキ in 熊本
- * 7.16 大阪市西成区子どもの里プログラム 10:45-11:45
- * 8.6 ヒロシマ・ナガサキを考える ダイイン&スカイイベント（映画上映も？）

ポーポキの友だちからのお知らせ

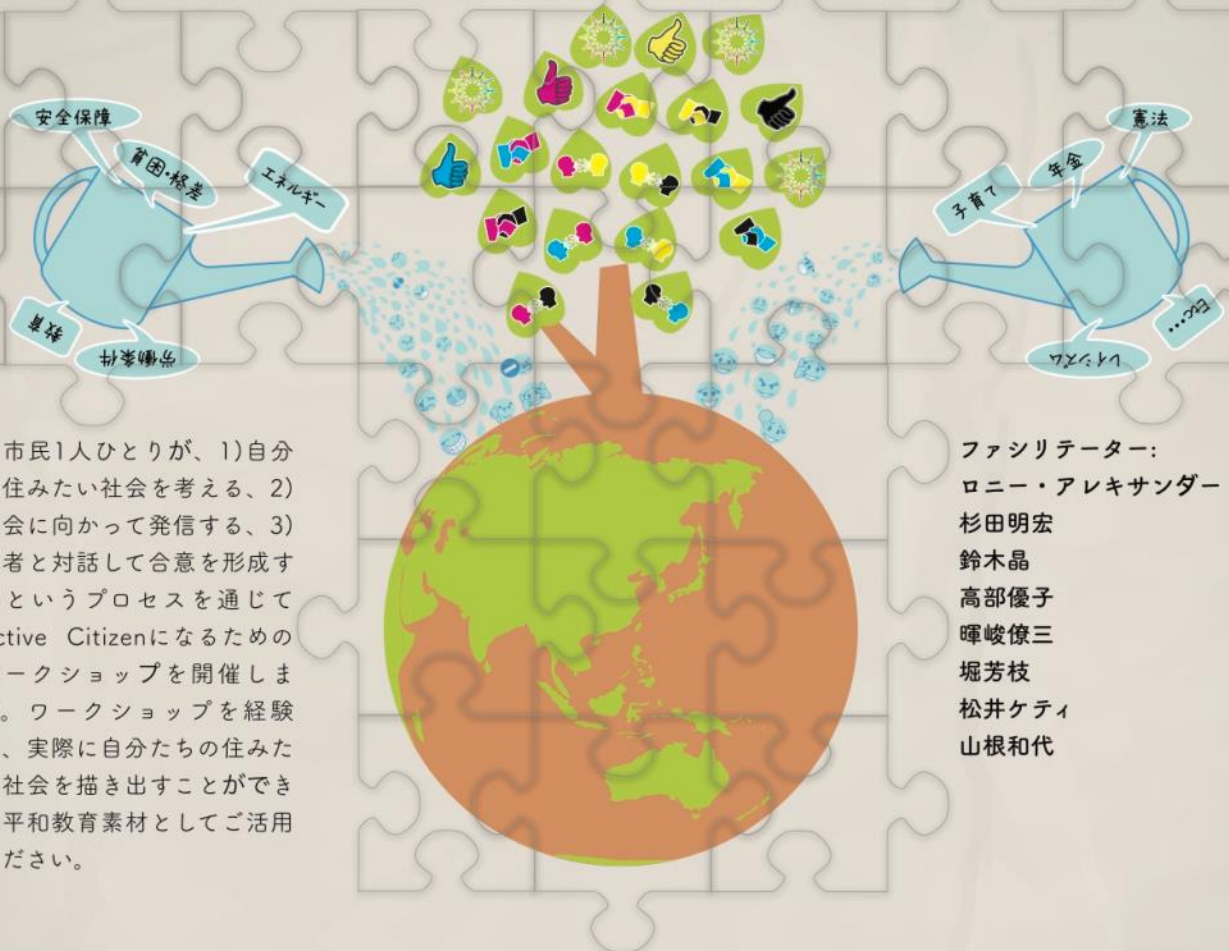
- * 6.25 日本平和学会で「Active Citizen養成講座」ワークショップ(p.9を参照)
 - * 6.26 「この国に未来を築こうー安全保障関連法に反対する関西圏大学有志の会共同集会」
13:30-17:30。関西学院大学上ヶ原キャンパスG号館101教室。(詳しくはp.10および
<http://iws1970.web.fc2.com/forum.html>)。
- ・新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。
すてきな写真集です。注文などは：下記のサイト又は前田圭子さんへ。
m.dodo@h2.dion.ne.jp <http://www.shashasha.co/en/book/fukushima-traces-2011-2013/>

2016年 日本平和学会春季大会
平和教育プロジェクト委員会・平和教育分科会 共催企画

Active Citizen養成講座

対話を通じて住みたい社会をつくる

6月25日(土) 15:30-18:00 @ 東京女子大学 24号館 1階



市民1人ひとりが、1)自分の住みたい社会を考える、2)社会に向かって発信する、3)他者と対話して合意を形成するというプロセスを通じてActive Citizenになるためのワークショップを開催します。ワークショップを経験し、実際に自分たちの住みたい社会を描き出すことができる平和教育素材としてご活用ください。

ファシリテーター：
ロニー・アレキサンダー
杉田明宏
鈴木晶
高部優子
暉峻僚三
堀芳枝
松井ケティ
山根和代

同日開催 平和教育分科会・平和教育プロジェクト委員会 共催企画

平和教育分科会 報告

6月25日(土) 12:00-14:00 @ 東京女子大学 7号館

◆ 報告1 中村(新井)清二 (大東文化大学)

テーマ：「18歳選挙権を前に、民主的主体とは誰かについて考える」

◆ 報告2 小寺隆幸 (京都橘大学/原爆の図丸木美術館理事長)

テーマ：「アメリカにおけるヒバクシャ・ストーリーズの取り組みから学ぶ」

東京女子大学:東京都杉並区善福寺2-6-1

アクセス:JR中央線 西荻窪駅 徒歩12分、JR中央線 JR中央線・総武線 京王井の頭線 吉祥寺 徒歩20分

この国に未来を築こう

安全保障関連法に反対する関西圏大学有志の会共同集会

2016年6月26日(日) 13:30-17:30

関西学院大学 上ヶ原キャンパス G号館101教室

(阪急電鉄今津線 甲東園駅よりバス5分/徒歩12分)

参加費無料 どなたでもご参加いただけます

第1部 白井聡さん(京都精華大学専任教員) 講演

「永続敗戦レジーム」を終わらせよう

第2部 各大学有志の会 SEALDs KANSAI

安全保障関連法に反対するママと有志の会@兵庫

甲東平和を考える会 リレートーク

主催 「この国に未来を築こう」実行委員会

共催 安全保障関連法に反対する滋賀大学人有志の会
「平和安全法制」(戦争法)に反対する滋賀県立大学有志の会
自由と平和のための東大有志の会
安保関連法に反対する立命館学園有志の会
安保法制の廃止を求める龍谷大学人の会
安保関連法の廃止を求める佛教大学有志の会
「戦争しない国」のための京都橘大学有志の会
安全保障関連法に反対する京都教育大学教職員有志の会
安全保障法制に反対する京都女子大学有志の会
安保関連法に反対し廃止を求める天理大教員有志
憲法違反の安保関連法の廃止を求める大阪大学人の会
違憲安全保障関連法に反対する大阪市立大学有志の会
安保関連法に反対する大阪府立大学教員有志の会
安保法制に反対する大阪大谷大学有志の会
「安全保障関連法」に反対する桃山学院大学有志の会
安全保障関連法廃止を求める和歌山大学有志の会 (WAASA)
神戸大学平和フォーラム
安保関連法に反対する関西学院大学有志の会
安全保障関連法に反対する神戸女学院有志の会
安全保障関連法に反対する神戸市看護大学有志の会
安保法制に反対する創価大学・創価女子短期大学関係者有志の会
(5月10日現在)

連絡先 「この国に未来を築こう」実行委員会 事務局
岩佐卓也(神戸大学 人間発達環境学研究所)
iwasa@kobe-u.ac.jp

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！<http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO : 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの』（連載）とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（レベッカ・ジェニスン） p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいからなんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8（アジア女性交流・研究フォーラム）
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」 2008.10.8 10面





私にとってのポーポキ

Yeni にゃん

私は、世界は良い方向に向かっているとは言えないように思う。私の言う良い方向とは平和な世の中のことであるが、ニュースや報道でよく耳にするものの多くは平和とは程遠い情報ばかりである。これより、平和とは、我々の叶わない理想のようなものを感じる。ある者が喜びや幸せを感じると、またある者は憎しみや憎悪の感情を抱く。つまり、この世界で全ての人が幸せを手に入れる、若しくは感じることは、大変困難なことのようである。しかし、私は、我々ならこの世界をより良い場所へ変えていけるのではないかと信じてやまない。なぜなら、我々は相手を尊重し合い、そして学ぼうとする姿勢を忘れていないからである。そこで、世界をより良い場所にするためには、我々は、相手を愛し、尊敬の念を示し、そして思いやりの気持ちを持って接するべきである。それは、大きいことをし続けることを意味していない。それは、笑顔であったり相手のために思った言葉であったり、そのような小さなことの重要性を意味している。単純なことのようにであるが、この小さなことの積み重ねが大きな意味を成すのである。そして、私は、この小さなことを大切に思える風潮が広がっていくことを望んでいる。

☺



”桜の木の下に咲いていた小さく美しい花”

西宮市夙川公園にて報告者撮影（2016年3月30日）



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!